

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ交流係

電話番号：058-272-1111 (内 2948)

E-mail: c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 18,039 千円 (前年度予算額：14,694 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	14,694	0	0	0	0	0	0	0	14,694
要求額	18,039	0	0	0	0	0	0	0	18,039
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県出身で日本女子陸上界初の五輪金メダルをもたらした高橋尚子氏を大会長とする国際ハーフマラソン「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」の開催を契機に、「ぎふ」の観光資源を積極的にPRすることで、活力ある地域づくりを推進していく必要がある。

(2) 事業内容

県は「清流の国ぎふ」の魅力を積極的にPRするとともに、実行委員会に参画し、その開催に要する経費を一部負担する。

【第10回大会開催概要】

○開催時期 令和3年4月25日(日)

○開催方式 実行委員会形式

(構成：県、岐阜市、岐阜陸上競技協会、(公財)岐阜県スポーツ協会、中日新聞社)

○コース ハーフマラソン、3キロコース

○参加予定人数 11,000人

(3) 県負担・補助率の考え方

「ぎふ」の観光資源を積極的にPRし、活力ある地域づくりを推進していくためには県負担が必要。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅 費	145	・関係団体との交渉、調整等
消耗品費	600	・事務消耗品費
役務費	100	・通信運搬費等
委託料	5,194	・おもてなしマップ作成、駐車場警備業務
負担金	12,000	・実行委員会負担金
合 計	18,039	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 後年度の財政負担

大会開催の経済波及効果を勘案しながら、事業の継続性を検討していく。

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

オリンピック金メダリストである高橋尚子氏と関わることができる清流ハーフマラソンを継続的に開催することで、地域住民が気軽にスポーツに親しむ環境づくりを目指し、スポーツ実施率の向上を目指す。

さらには、大会を通して活力ある地域づくりを推進し、さらに「清流の国ぎふ」の魅力を全国に発信する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
スポーツ実施率	43.6% (H23)	47.6% (H29)	48.6% (H30)	43.7% (R1)	65.0% (R3)	67.2%

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

第9回大会を2019年（平成31年）4月28日に開催。第9回大会は、ハーフマラソンでは国内初のゴールドラベルに認定され3回目のレースであった。歓迎レセプションや会場イベントにおける県産品コーナーの設置、地元のまちづくり団体や地元商店街等と連携した盛り上げ事業などによる地域密着型の観光関連事業を同時展開することで、地域の活性化を図るとともに、「清流の国ぎふ」の魅力を発信に取り組んだ。

2020年（令和2年）に開催予定であった第10回記念大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から1年延期とした。2021年（令和3年）4月25日開催予定。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2020年（令和2年）に開催予定であった第10回記念大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から1年延期。2021年（令和3年）4月25日の開催に向けて、万全のコロナ対策を講じた安心安全な大会運営を行い、withコロナに応じた地域住民がスポーツに親しむ環境づくりを行う。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	本大会は「清流の国ぎふ」の魅力を国内外へ発信する絶好の機会であり、また、大会を通じて活力ある地域づくりへとつなげることができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	大会を通して「清流の国ぎふ」の魅力を発信し、また、各種盛り上げ事業等により地域活性化が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	実行委員会の各構成員が、競技運営や事業運営などを分担して実施することにより、業務の円滑な実施につながっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 大会を通じて、「清流の国ぎふ」の魅力をより積極的にPRし、地域活性化や観光振興につなげていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地元密着型イベントとして、より一層地元団体や地域住民の参加を促し、地域活性化を推進していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—